

2024年3月5日

記者會、記者クラブ 各位

「第2回応用気象シンポジウム 2024in ぎふ」及び 「気象データアナリスト養成プログラム 2023 修了式」を行います

岐阜大学工学部附属応用気象研究センターは、下記のとおり「第2回応用気象シンポジウム 2024in ぎふ」を開催します。

SDGs や Society5.0 の実現に向けて社会や産業において気象データ利活用が広がりつつあります。令和3年度より気象庁気象データアナリスト育成講座が開始され、気象データを利用した新規ビジネス創出が期待されています(岐阜大学では令和5年度から大学院履修証明プログラムとして開講)。今後、さらなる気象データ利活用の推進のためには「産」「官」「学」の垣根を超えた連携が必要となります。このシンポジウムでは、様々な産業界における気象データ利活用の先進的な事例と人材育成について知見を共有し、今後の気象データ利活用の発展と人材育成のあり方について議論します。

また、シンポジウム閉会後に同会場にて、気象データアナリスト養成プログラムの第1期修了生(26名)に修了証授与を行います。

つきましては、当日の取材についてよろしくお取り計らい願います。

記

開催日時：2024年3月22日(金) 13:00-16:00

開催場所：じゅうろくプラザ 5 階大会議室
(岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11)

主催：岐阜大学工学部附属応用気象研究センター

後援：気象ビジネス推進コンソーシアム

プログラム：

特別講演1「航空気象分野における気象データを用いた研究及び事例紹介」

13:10-13:50 慶應義塾大学 宮本佳明

特別講演2「農業現場における気象測器と気象データの利用(凍霜害を例にして)」

13:50-14:30 圃場診断システム推進機構 鳥谷均

特別講演3「大学初の気象データアナリスト養成プログラムの紹介と実施報告」

14:30-15:00 岐阜大学 吉野純

パネルディスカッション「社会や産業における気象データ利活用と人材育成のあり方」

15:15-15:55 ファシリテータ:吉野純

パネリスト:宮本佳明、鳥谷均、
岐阜大学 小林智尚、
岐阜大学 玉川一郎

今回のリリースはミライエ構想のうち、
右記を推進するものです。
「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu_miraie.html



岐阜大学は、国立大学法人東海国立大学機構が
運営する国立大学です。
東海国立大学機構 HP <https://www.thers.ac.jp/>



問い合わせ先

岐阜大学工学部附属応用気象研究センター事務局
TEL: 058-293-2431
E-mail: amet@t.gifu-u.ac.jp